

磐城正中新報

發行日 毎月一日 十五日
 定額 一月 一元 半年 五元 一年 十元
 郵税 共 一部 金 拾 銭
 廣告料 普通 一 回 十 銭 二 回 以上 八 銭 三 回 以上 六 銭
 印刷 費 同 上
 編輯 人 安 澤 榮 作
 發行 所 磐 城 中 正 新 報 社
 社 址 磐 城 中 正 新 報 社

野崎、若松兩氏の 縣參事會員争ひは

結局誰に落付くか

民政黨石城支部では縣參事適任であつても到底圓滿な
 會員の椅子問題で野崎、若松の妥協は覺束なかるべく成
 なる競争を續けてゐるので
 松兩縣議が互に譲らず猛烈
 なる競争を續けてゐるので
 黨の平和を保つと共に將來
 に禍根を遺さざる様圓滿な
 妥協を試むべく去る二十
 七日平南町民政黨俱樂部に
 幹部會を開催し協議の結果
 調停並に人選は同黨石城部
 員の顧問に一任する事に決
 定したが、調停並に入選方
 を一任された顧問志賀猪之
 松、箱崎龜吉、小松春治、
 漆畑元吉、草野三郎の五氏
 は本月上旬第一回の顧問會
 を開くことになつたが顧問
 會で果して何方を適任と認
 むが例令顧問會で推す人が

慰安觀劇會 平郵便局の

平郵便局では局員慰安の爲
 七日前南町民政黨俱樂部に
 幹部會を開催し協議の結果
 調停並に人選は同黨石城部
 員の顧問に一任する事に決
 定したが、調停並に入選方
 を一任された顧問志賀猪之
 松、箱崎龜吉、小松春治、
 漆畑元吉、草野三郎の五氏
 は本月上旬第一回の顧問會
 を開くことになつたが顧問
 會で果して何方を適任と認
 むが例令顧問會で推す人が

明治節の佳き日に 常磐五大炭礦聯合の 第二回陸上競技大會

常磐五大炭礦聯合第二回陸上競技大會は去る二十七日台は此の壯烈なる競技と應
 上競技大會は去る二十七日台は此の壯烈なる競技と應
 開催の筈であつたが折悪し援の成聲に轟き揺かん會長
 雨の爲め延期の所愈々下野十朗氏、顧問には各
 來る三日明治節の佳き日を炭礦各業所長を審判長には
 期し同日午前八時より平南町唐土塾中校長警中職員を競
 高月台の警中グラウンドに技委員に囑し、福島、古川
 於て開催される事となつた磐城、入山、三井の五大炭
 炭礦行事特に呼び物の此の礦粒選りの選手百四十餘名
 競技は各礦健兒の心を躍らし血を湧かせ各炭礦の競技
 主任は一ヶ月も前より劃策
 と準備に努め且各礦應援團
 の意氣將に衝天の慨あり秋
 倉、四倉驛前通り町頭、

況を豫想されてゐる尙昨年
 第一回の大會には入山車が
 優勝を獲得した關係から
 各炭礦は雪辱の意氣に燃い
 既に連日猛烈なる練習中
 各炭礦選手の努力が果して
 如何なる結果を齎し名譽の
 金冠は何軍の手に歸するや
 多大の興味と注目を惹いて
 ゐる

實行豫算の緊縮から 飯野村で教員を解職 更に減俸をも斷行

右城郡地方に於ける農村では出來ぬと過般濱三町町村
 は四年度實行豫算の緊縮を
 行ふには町村費の大部分を
 占めてゐる教育費中教員俸
 給に手を觸れなければ緊縮
 郡飯野村小學校では從來十
 名に對し補助教員共十二
 名の處此の程指導の女教
 員一名を解職し正教員一名
 を他へ轉校せしめ更に恩給
 年限に達してゐる一教員を
 辭職せしめた後更めて代用
 教員に採用の形式をとり校
 長自身も學級を擔任し年額
 壹千圓を節約する事とな
 つた斯くて町村費の節約は
 教育費には一切手を付けさ
 るべしと云ふ縣の方針も疑
 は勿論全縣下に亘り此れに
 習はんとする傾向著しく洋

菊花品評大會 平南町に開催

菊花品評大會は例年の如く十一
 月一日より平南町警城共濟
 會館に於て開催
 同好者諸氏が丹精の結晶
 たる逸品を陳列し一般の觀覽
 するに當つたので石城地方
 年々芳らぬ賑ひを呈する
 習はんとする傾向著しく洋

大會の順序と
 各炭礦の色別
 大會役員
 大會役員
 會長 下野十朗
 顧問 菊地徳太郎
 同 菅原萬次郎
 同 渡邊寛一郎
 同 伊藤孫植

選手色別番号
 福島(黄)一 二九
 古川(緑)三〇 五九
 磐城(紫)六〇 八九
 入山(白)九〇 二九
 三井(橙)三〇 四九

製品の優良を誇る
 セメント瓦
 の權威
 鈴木藤太氏の製品である。
 堅牢、耐久、耐火、耐寒、
 重量、永久不滅、安價優美
 等は勿論材料の精選、職工
 の技術優秀なるは斯界既に
 定評あり新進の氣鋭に富む
 氏は從來の工場にては充分
 に冀足を伸すに不便を感じ
 昨年前記の處に工場を新築
 し數名の職工を指揮して氏
 自ら陳頭に立つて製造出荷
 監督等に當り目醒しき奮闘
 を續けてゐるが同所は四倉
 驛へ近く國道は軒の下と云
 ふ至極便利な所で製品の優
 良と交通の便利と相俟つて
 二萬圓を二十一日支拂つた
 が上棟式は本月上旬舉行の
 筈である

如來寺の庫裡 新築愈着工

四倉町如來住職小松學俊師
 は豫て庫裡新築の宿願で奔
 走中の處師の熱誠に依り淨
 財と用材の喜捨意外に多く
 愈々舊庫裡を取り拂へ基礎
 工事に着手したが七千圓を
 投する新築の事とて竣工の
 上は一大偉觀を呈するであ
 らう

古河の新斜坑
 起工式舉行
 本月五日に
 常磐炭田五大炭礦の一たる
 本郡好間村古河炭礦では豫
 て新斜坑開鑿計畫中の處愈
 々期熟し本月五日午前十時
 盛大なる起工式を舉行し南
 ちに着工する筈であるが同
 新斜坑着炭の曉は同礦に一
 大偉力を加ふべく斯界より
 注目されてゐる

進捗した
 平第三校工事
 新築工事中の平第三小
 學校建築工事は去る八月七
 日平新川町九百材木店代表
 者佐藤福太郎氏が工費四萬
 五千八百五十圓で請負
 工事中の處既に六割以上工
 事の進捗を見たので町當局
 では佐藤氏に工費の内金
 二萬圓を二十一日支拂つた
 が上棟式は本月上旬舉行の
 筈である

意外に
 進捗した
 平第三校工事
 新築工事中の平第三小
 學校建築工事は去る八月七
 日平新川町九百材木店代表
 者佐藤福太郎氏が工費四萬
 五千八百五十圓で請負
 工事中の處既に六割以上工
 事の進捗を見たので町當局
 では佐藤氏に工費の内金
 二萬圓を二十一日支拂つた
 が上棟式は本月上旬舉行の
 筈である

減俸案撤回で喜ぶものは
 官吏、不平を云ふものは
 農民であるサテ數は何方
 が多いか
 不景氣愈々深刻に、米價
 と野菜益々騰る、天候不
 良續く政道是乎天道非乎
 石城民政黨内部に縣參事
 の解決法は野崎、若松兩
 氏の縣參事にするに限る敢
 て訴ふ
 平町民の生命たる上水道
 擴張起債認可申請に反對
 の町議があれば又其の所
 馬に乗る代議士もある、
 世はサマノ、だ
 常磐炭田の健兒が明治節
 の佳き日に壯烈なる競技
 大會を催す天此の健兒と
 觀衆の爲めに快晴を祈る
 緊縮強要の餘弊遂に教育
 費に及ぶ月俸百圓以下が
 叫ぶの時代も遠くあるま
 い
 郡下坪苜の結果前年に比
 し一割減收を如實に物語
 る飯も祿々喰へなくなる
 か
 川前の紅葉豫期より遅れ
 て漸く紅葉し始む第一日
 曜より第二日曜の頃が眞
 盛とならん有閑無閑を問
 はず一日の清遊を變む

減俸案撤回で喜ぶものは
 官吏、不平を云ふものは
 農民であるサテ數は何方
 が多いか
 不景氣愈々深刻に、米價
 と野菜益々騰る、天候不
 良續く政道是乎天道非乎
 石城民政黨内部に縣參事
 の解決法は野崎、若松兩
 氏の縣參事にするに限る敢
 て訴ふ
 平町民の生命たる上水道
 擴張起債認可申請に反對
 の町議があれば又其の所
 馬に乗る代議士もある、
 世はサマノ、だ
 常磐炭田の健兒が明治節
 の佳き日に壯烈なる競技
 大會を催す天此の健兒と
 觀衆の爲めに快晴を祈る
 緊縮強要の餘弊遂に教育
 費に及ぶ月俸百圓以下が
 叫ぶの時代も遠くあるま
 い
 郡下坪苜の結果前年に比
 し一割減收を如實に物語
 る飯も祿々喰へなくなる
 か
 川前の紅葉豫期より遅れ
 て漸く紅葉し始む第一日
 曜より第二日曜の頃が眞
 盛とならん有閑無閑を問
 はず一日の清遊を變む

減俸案撤回で喜ぶものは
 官吏、不平を云ふものは
 農民であるサテ數は何方
 が多いか
 不景氣愈々深刻に、米價
 と野菜益々騰る、天候不
 良續く政道是乎天道非乎
 石城民政黨内部に縣參事
 の解決法は野崎、若松兩
 氏の縣參事にするに限る敢
 て訴ふ
 平町民の生命たる上水道
 擴張起債認可申請に反對
 の町議があれば又其の所
 馬に乗る代議士もある、
 世はサマノ、だ
 常磐炭田の健兒が明治節
 の佳き日に壯烈なる競技
 大會を催す天此の健兒と
 觀衆の爲めに快晴を祈る
 緊縮強要の餘弊遂に教育
 費に及ぶ月俸百圓以下が
 叫ぶの時代も遠くあるま
 い
 郡下坪苜の結果前年に比
 し一割減收を如實に物語
 る飯も祿々喰へなくなる
 か
 川前の紅葉豫期より遅れ
 て漸く紅葉し始む第一日
 曜より第二日曜の頃が眞
 盛とならん有閑無閑を問
 はず一日の清遊を變む

減俸案撤回で喜ぶものは
 官吏、不平を云ふものは
 農民であるサテ數は何方
 が多いか
 不景氣愈々深刻に、米價
 と野菜益々騰る、天候不
 良續く政道是乎天道非乎
 石城民政黨内部に縣參事
 の解決法は野崎、若松兩
 氏の縣參事にするに限る敢
 て訴ふ
 平町民の生命たる上水道
 擴張起債認可申請に反對
 の町議があれば又其の所
 馬に乗る代議士もある、
 世はサマノ、だ
 常磐炭田の健兒が明治節
 の佳き日に壯烈なる競技
 大會を催す天此の健兒と
 觀衆の爲めに快晴を祈る
 緊縮強要の餘弊遂に教育
 費に及ぶ月俸百圓以下が
 叫ぶの時代も遠くあるま
 い
 郡下坪苜の結果前年に比
 し一割減收を如實に物語
 る飯も祿々喰へなくなる
 か
 川前の紅葉豫期より遅れ
 て漸く紅葉し始む第一日
 曜より第二日曜の頃が眞
 盛とならん有閑無閑を問
 はず一日の清遊を變む

祝創刊一週年

川前村長

佐藤三郎

川前村會議員

永山忠二

川前村書記

永山新三

川前村

永山徳一

永戸箕輪組合村長

高萩正一

四倉郵便局長

菅波富太郎

牛豚肉大賣出
肉の季節に入りました

御用命は是非弊店へ

三二三屋支店

四倉町本町

武田肉店

電話呼出(七)一五五

御料理館 海氣館
四倉町

御料理館 柏屋
四倉町

セメント瓦 製造販賣 鈴木藤太
四倉驛前通り町頭

セメント瓦 製造販賣 大勉強

大谷清雄

石城郡大浦村上仁井田

涌井保
内郷村

楠正隆
湯本町

森文雄
湯本町

内外科 籠倉醫院
湯本町

先崎集惠
湯本町

痔、神経痛、胃腸病

子宮病、寸白、疝氣

脚氣、痛風、疥癬

等に特效偉大なり

旅籠及自炊の便あり

石城郡箕輪村高野

神泉亭

高萩コウ

石城郡箕輪村高野

古湯

高萩忠太

山崎合名會社
平町電話一〇番

御進物には

ヤマフルの商品券が一番

醤油味噌たひら正宗

鯨節其他食料品

酒 齋 齋 齋

馬日支店 平田

電話二五四番

市原醫院

平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男
入院隨時

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵 釜屋商店
金物問屋

電話九番 一三九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷はの生命なり